

指標案について

【化石資源代替に関する指標】

指 標	メリット	デメリット	評価
バイオマスの利用率 + 資源作物の生産量	<ul style="list-style-type: none"> 測定が容易。 対外的な説明が容易。 現在の利用状況等を勘案しつつ、現実的な目標設定が容易。(バイオマス・ニッポン総合戦略の目標) 	<ul style="list-style-type: none"> カスケード利用について評価できない。 	◎
国産バイオマス利用によるGHG削減効果	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス利用促進の意義をアピール可能であり、国民の理解を得られやすい。 バイオマスの利用方法の高度化について一定程度評価可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどのバイオマス利用に関し、LCA評価が定まっておらず、目標設定や測定が困難。 (参考資料参照。推定値レベルの参照値を示すことは可能) GHG削減効果のみでバイオマス利用のメリットを測ることは不適切。 	○
バイオマスによる化石資源代替量	<ul style="list-style-type: none"> 利用時の化石資源代替量を算定するだけで一定評価できることから、GHG削減量が計算できないバイオマス利用方法についても評価可能。 一部推計値となるが測定が容易。 概念的にはカスケード利用も評価可能。 (バイオマスの二次利用に関する統計が必要) 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の環境負荷低減効果と必ずしも一致しない場合がある。 バイオマス製品製造時に投入する化石資源量まで含めた化石資源代替量の評価は、LCA評価が定まっておらず困難。 マテリアル利用した場合の化石資源代替効果については、モノごとの推計式の設定が困難。 	○
再生可能エネルギーに占めるバイオマスエネルギーの割合	<ul style="list-style-type: none"> 一部推計値となるが測定が比較的容易。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物焼却時の発電・熱利用の占める割合が大きく、バイオマス活用政策のアウトプットとして説明しにくい。 	△

【地域活性化に関する指標】

指標	メリット	デメリット	評価
バイオマス活用推進地域計画（バイオマスタウン構想）の策定数及びバイオマスタウンの効果（経済効果、環境面での効果等）	<ul style="list-style-type: none"> 測定が容易。 国民運動的な意義あり。 バイオマスタウン構想の数と併用することにより、面的な広がりイメージを持たせることが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済効果等を測定するための指標に工夫が必要。 	◎
バイオマスによる地産地消率（エネルギー、資材等）	<ul style="list-style-type: none"> 地域内の資源循環の度合いを表すことが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 定義付け、測定、目標設定が比較的困難。 地域によって実現可能な数値が大きく異なるものについて、国が一律の目標を設定することは不適切。 	○
バイオマス新産業の規模	<ul style="list-style-type: none"> 経済効果として分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「新産業」の定義付けに工夫が必要。 新産業と既存産業がトレードオフの関係となる場合もあるため、新産業単体の規模のみで効果を計ることは不適切。 	○
農山漁村の人口増減	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化の程度を評価することが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス活用の寄与度が不明確。 	△
バイオマス製品の売り上げ高	<ul style="list-style-type: none"> 経済効果を一定程度評価可能。 	<ul style="list-style-type: none"> 定義付け、測定に工夫が必要。 マテリアル利用など従来用途（製紙など）との競合に配慮する必要があることから、目標設定が困難。 	△

【その他の指標】

指標	メリット	デメリット
バイオマス原料・製品のコスト	<ul style="list-style-type: none"> 測定が比較的容易 バイオマス製品等の普及に向けた努力目標として意義あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 国のバイオマス施策の基本的な目標とするには対象が限定されすぎている。